

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8263
担当部課名	土木部	道路整備	課	まちづくり道路 班
事務事業名	橋本新町通り線道路改良事業		事業コード	32120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	骨格幹線道路網の整備	12年度
施策名	第2施策	市内幹線道路の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法、道路構造令、電線共同溝の施工等に関する特別措置法、バリアフリー法

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
橋本駅北口C地区市街地再開発事業に関連した都市計画道路の整備で、事業に伴い発生する車や人を処理し、将来の橋本3丁目地区の開発にも対応できる道路網計画の幹線道路として整備する。		道路利用者、駅利用者、再開発周辺店舗等利用者	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
事業地：橋本3丁目地内 平成13年度実施事業 電線共同溝整備工事 L = 74m 平成12年度実施事業 道路整備工事 L = 106m 電線共同溝整備 L = 92m 全体計画 L = 410m W = 15m 整備計画 L = 330m (80mは再開発事業で整備) 繰越事業		新たな総合都市交通計画と整合した道路網の整備。 都市計画道路の整備。 地中化事業の推進。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 橋本新町通り線道路整備事業	
		計画年次 12年度 ~ 14年度	
		重点施策であるふれあいのターミナル橋本整備計画により、首都圏における拠点都市に相応しい市街地の整備を進めるもの。	

4 評価指標

指標名	電線共同溝整備実施率	道路整備実施率
指標式	当該年度完了整備延長/当該年度目標整備延長*100 (75/410)*100	当該年度完了整備延長/当該年度目標整備延長*100
指標設定の意図	当該年度における計画的な整備実施の指標。	当該年度における計画的な整備実施の指標。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		100	a 18	b 100	100
指標		100	c 0	d 0	100
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	68,750	29,154	178,000	198,845
	人員・時間数	(1.4人)	(0.5人)	(0.5人)	(1.6人)
	人件費	11,788	4,210	4,210	13,472
	その他経費	0	0	0	0
	合計	80,538	33,364	182,210	212,317
特定財源		43,000			112,000

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 18.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 18.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
-----------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 道路整備用地の購入・補償等の遅れもあり、当該年度整備を達成できなかったため。

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 道路の整備により、商業地へのアクセスが確保され、また歩道の整備によりバリアフリーに対応している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 整備実施することにより、再開発事業整備完了の市営立体駐車場への通行が可能になるため、事業の費用対効果は、妥当である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 国・県道に接した箇所は無く、まちづくりの観点から市が実施することは、妥当であり、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 整備後に周辺道路の利便性が高まると予想でき、十分な満足度が得られる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 橋本駅北口市街地再開発事業に関連しており、施策の重要性は大である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 全区間の整備完了をめざし、早期の工事着手
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 建物補償物件除去をうながし、工事の同工種工事の一括化発注を行う。

7 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	説明
必要性、有効性・経済性、事業の代替性等の項目について、有効であると評価できるが、事業の達成度としてはC評価で目標を達成していないので、全体評価としては、十分目標を達成していないため。		

8 二次評価における変更点